

ユニセフ写真展

ウクライナ危機とトルコ・シリア大地震

幾重もの苦しみ それでも生き抜く子どもたち



©UNICEF/UN0777983/al Sayed/AFP

地震で倒壊した建物の瓦礫から小さな子どもを救助する地域住民たち。(2023年2月6日撮影、シリア北西部)

2022年2月24日に始まったロシアによるウクライナへの侵攻は今も続き、ウクライナの人々は厳しい生活を強いられています。また、2023年2月6日にトルコ・シリア国境付近で大地震が発生し、トルコとシリアでおよそ5万6000人が死亡しました。トルコ北部にはシリアから逃れてきた人も多く、過酷な避難生活の上に地震被害が重なり、さらに苦しい暮らしを余儀なくされています。

今回の写真展では、ウクライナ・トルコ・シリアの深刻な状況や子どもたちが直面している現状、ユニセフの支援活動などを紹介します。

日時：2023年6月2日(金)-18日(日) ※6月6日、13日をのぞく

9:00~21:00(日・祝は17:00まで)

会場：ラスタホール(伊丹市立生涯学習センター) 1階 エントランスホール

料金：入場無料

■天災等により、日程変更または中止となる場合がございます。

お問合せ ラスタホール(伊丹市立生涯学習センター)
TEL. 072-781-8877 <火曜休館>
<https://www.lustrehall.com>
〒664-0865 伊丹市南野2丁目3番25号



主催：公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団/ラスタホール 伊丹市教育委員会 大阪ユニセフ協会